市民諸君に訴ふ（第二報）

市民諸君！

我々日本電氣株式會社の羅工團は再び會社の不誠實極まる暴露する事實を摘發して諸君の嚴正公平なる批判を乞はんとするものである

市民諸君！！

吾々は資本家の勞働搾取の惡むべき手段である賃銀二重制度の撤廢を要求し、生活の不安と失業の恐怖を幾分でも緩和せんがため罷業を開いたのである、而して已に一ヶ月其の間會社と交涉を重ねること數回、數字的理據に基いて反覆説明すると雖も暴利を貪ることに盲目となつた會社當局者は毫も吾等の言に耳を傾けない、剰へ、吾等が信認し委托したる總同盟の代表者をすら會見交涉を遂げることを肯んぜないのみならず、昨二十四日附をもつてあくまでも平和的解決を熱望せる吾々羅工團の幹部數十名に對し理由なき解雇状を叩きつけ、全く挑戰的、好戰的態度をもつて吾等に臨むに至つたのである

市民諸君！

斯の如き好戰的態度をもつて高壓的に吾等の最小の願望を蹂躙し去らんとする會社の態度是か、將又最後まで辯護に平和な解決を欲して隱忍し來れる吾等の態度是か？

日本電氣の生產は復興の帝都に緊急を要する電話機の製造である、吾等は事業の性質を思ひ時復興に焦慮せる市民諸君に對して責任の稍からざるものあるを感ずるのである從つて一日も速かに解決せしめんとする念切なるものがある、然りと雖も平和な過程に殊更に挑戰を強ひんとする會社の好戰的態度は吾等をして市民諸君に對する責任を感じつゝも猶且つ戰を續けざるを得ざらしめるのである

市民諸君！

會社は日々虛構の流言を放つて、自己の工場内に數百の警官を伏せ國家の公器を恰も自家薬籠中のもの、如くに心得殊更らに社會不安の念を高からしめんと策略を施してゐる

市民諸君！